

## 一橋陸上競技倶楽部理事会議事録

日時 : 平成 28 年 9 月 15 日 (水) 18 : 00 ~ 20 : 00

場所 : 如水会館 14F 一葉

出席者 (敬称略) :

(理事) 浜田、岩瀬、平田、坂田、井田、中村 (龍)、若菜、中村 (英)

(監事) 後藤

(オブザーバー) 伊丹 (3 月に理事を退任したが、浜田会長の推薦で引き続き出席)、現役三役

議題 :

### (1) 今後のスケジュール

#### ① 秋の OB 戦

10 月 22 日 (土) 12:00 ~。より多くの OB・OG の参加を企図して、会員のお子さん達の参加種目をプログラムに加えるなどの提案も含めて、内容の詰めを急ぎ、陸上部の HP に早く掲載広報すること。

#### ② 2017 年 3 月の決算総会

決算総会は、3 月 14 日 (火) 18:00 から開催、18:30 から懇親会。卒業生と三役を招待する。

#### ③ 2017 年 6 月の全体総会

6 月 10 日 (土) 12:00 ~ 15:00 で OB・OG 戦、15:00 から総会。但し、津田塾生は総会の参加対象としない。

### (2) 冬眠会員の掘り起こし (倶楽部への無関心層に対して手を打たねば)

倶楽部の諸行事や連絡事項に無反応・無関心の会員 (会費の支払いの有無に拘らない。) を「冬眠会員」と定義。冬眠会員に対しては、学生の協力を得た直接面談を通じて倶楽部や母校陸上部に関心を持ってもらうことを狙いとする。こうして関心を高めてもらう中で、さらに、よしんば年会費未払い会員が年会費支払いに向けてくれればと、その空気を醸成していく。

「未払い会員を対象としている運動なのか？」と疑念を持たれ、その結果、気分を害して倶楽部からますます心理的に離れていくようなことにならない配慮が必要なのは論を待たない。また「自分は陸上部の現役部員といろいろ話をしたり聞いたりしたかったのに、訪問してきてもらえず残念だった。」という逆の苦言が出ないように、訪問対象の線引きにも配慮が必要。

冬眠会員の掘り起こし運動は、倶楽部や現役の陸上部活動に関心と親しみを持ってもらう、乃至はその関心を高めてもらうことを表向きの第一義として訴求。未払い会員による会費納付増加も重要課題であるが、冬眠会員掘り起こし運動においては、副次的効果と映るような建て付けとする。(本音は会費支払を増やすことにあるが。)

については、まずは「同年次同士での気心が知れた話のし易さ」ということで、年度幹事の協力を梃にするのが現実的に効果も大きい。ということで年度幹事各位に、冬眠会員の掘り起こしを進めていこうとしていることへの理解を深めていただく。年度幹事会を 10 月中旬に開催する。その際に、会費未払いの会員への支払い勧奨についても理解と協力を要請する。

この展開に当たり、準備実務としては、年会費 (まずは本年度分) 未払い会員で且つ首都圏勤務者のリストを作成する。学生が本当に訪問して回る対象 OB・OG がどれくらいの人数規模になるかがわかるようにする。その他展開の詳細スケジュールは、理事会

席上配布資料記載のとおり。

(3) 現役の幹部交代時期

現状では3年生が主将などの幹部を務めているが、自分達よりも上級生である4年生への気遣いや遠慮があり、その結果、組織における適切なリーダーシップが発揮されず、組織の力が存分に発揮されていないように見える。このことに重い憂慮をOBとしては抱いている。従来の4年生が三役を務める形に戻すように、現役三役に強く求めた。

(4) 合宿の在り方

3月に千葉で実施している春合宿は、経費節減の点、また、タータントラックが学内に持っているという点からも、外で春合宿を行うことの見直し検討を現役部員に要請した。また、合宿日程と主要対校戦とのタイミングも、最大効果が実現できるように検討すべきだ。合宿の在り方の検討は、2年ないし3年後を見据えての課題。

(5) 試合用ユニフォーム

現状女子は、襟ぐりが男子用と同じようなラニングシャツや、裾が風に舞うような短パンを着用している。時代の流れ的にも理想的ではないと思う。現役部員がユニフォームを新しくしたい声があるが、それ自体は特段問題があるとは思わない。現役の中で十分検討し、OB会にも相談していただく前提で、変更するなら今年度は残り試合も少なくなっているもので、2017年4月を区切りにしたらどうか。

(6) 弱点種目の強化

特にハードル、棒高跳びについて、計画的に選手育成を進めるべきである。手を打たないと、いくつかの種目で、出場できる選手を確保できない忌々しき状況に陥ってしまう。

(7) マネージャーの業務内容についての再考

上記(2)の内容にも関連するが、陸上部の活動DVDを作成配信し、広くOB・OGに知ってもらい現役とOB・OG間の‘疎遠距離’を短くするといった『広報活動』は、マネージャー業務の一つと考えるので、現役三役の皆さんが中心になって考えてもらいたい。喫緊に近い課題でいうと、対校戦や日頃の練習光景などを、動画やスライドショーに編集する担当を指名してもらいたい。実際の編集は井田理事がお手伝いする。

その他報告事項

- (1) 倶楽部の資金運用変更：国際グローバルソブリン（投信）を先月8月5日に解約し、全額MRFに入金した。(会長決裁事項)
- (2) 「一橋大学後援会経由の寄付」のお願い：昨年に引き続いてお願い文書を出すべく考えている。昨年はS.50年以前入学者を対象としたが、今年はS.63年以前入学者にまで対象を拡大したい。

以上

平成 年 月 日

会 長